



Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター
Newsletter No.68 (2022.3.31)



語学センター Newsletter 第1号編集長 岩井千秋先生、退職記念メッセージ

1994年の開学時から28年もの長い間、広島市立大学の英語教育の中核で活躍された国際学部の岩井千秋先生が3月末で退職されます。岩井先生は開学以前から語学センターの立ち上げに寄与され、1995年度、語学センターフロアが完成した後に、同センター Newsletter の第1号発行も担当されました。

多才な先生はなんでもすぐに実践され、パソコンもインターネットも一般家庭にほとんど普及していなかった当時、いち早く語学センター教室の最新鋭の機器や機能を駆使した授業をしたり、自分で作成したホームページを授業で使用したりなどされ、多くの学生を魅了してこられました。

また、それにとどまらず、後には、専門の応用言語学から手話のサークルや複数大学での英語発表イベントなど様々な活動も展開されました。これまでに、語学センター Newsletter にもたくさんの記事を提供いただき、掲載しています。

1月28日の最終講義では、数年前から授業にも取り入れられてきたウクレレ演奏を披露されました。卒業生を含む164名もが国内外から参加し、先生の引き続きのご活躍を願いながら聴き入りました。

目次

国際学部教授 岩井千秋先生、退職記念メッセージ	
いつでも、どんなときでも	1
Meet the Language Tutors!	3
情報科学部2年 LIU Xiang	
芸術学部研究生 GOLDSCHMIDT Rebecca Maria	
国際学生寮関連 2つの写真展	3
慶北国立大学校サマースクール オンライン参加	3
春季休暇課外プログラムを実施しました	4
JLPT オンラインハーフ模試、 PROGOS スピーキングテスト、知のトライアスロン、 視察報告	4

いつでも、どんなときでも

国際学部教授 岩井 千秋



◆1月28日最終講義はZOOMで

ジブリ映画の主題歌（「いつも何度でも」）を少しもじって、この記事のテーマにしてみました。国際学部の Chuck こと岩井千秋です。本学着任から28年（つまり本学開学時から）、ついに私は自分自身に幕を降ろすとき（定年退職）を迎えました。瞬間間でしたが、振り返ればそこはやはり四半世紀、開学時の頃を思い返すと、今や隔世の感があります。

そもそも語学センターには大教室が中央にデーンと構え、通路を挟んで西側（Aシティー側）はコンクリートがむき出しの状態、方々に建築資材が置かれていました。授業は各学部とも1年生のみ。まだネットもメールもない頃です。やがてインターネットなるものが登場したというので、Mosaic とかいうブラウザを使って同僚と接続にトライ。結局PCの前で不毛の時間を延々過ごしたことが忘れられません。

それから4、5年後の語学センター専門委員会による機器更新検討の目玉が、ビデオオンデマンドだったように記憶しています。今では死語のVHSのビデオカセットをビデオトラックから選択して視聴できるような仕組みの案が確か出ていました。しかし、実用性に乏しく、予算目途もたないことから、断念。こうして、語学センターはその時々最先端技術を先取りしながら、今に至っているわけです。



◆高校進路指導担当教員説明会（1999年）



◆授業でウクレレを弾きながら

(p2へ続く)

Meet the Language Tutors!

今年度、活躍中のランゲージチューターの2人が、経験を通して感じたことをシェアしてくれました。

中国語

面白くてチャレンジの価値がある！

情報科学部 2年
LIU Xiang



◆沖縄、万毛座で

中国語を教えるだけでお金が貰えると最初に聞いた時は、とてもびっくりしました。中国人にとっては、世界一楽な仕事ではないかと思った時もありました。実際にやってみたら、そうではなかったです。

中国語の中に、日常的な、当たり前のような言い方や表現がいっぱいありますが、それらも説明する必要があるとは思わなかったです。そういったものはあまり理屈などはなくて、でも、全く理由がないわけでもありません。多くの場合は歴史的なものや古い中国語からきたものなので、どこまで説明したらいいのか、こんなに深く説明するとチューターには難しすぎて、中国語への興味を失ってしまわないかなど、色々考えると、中国語を教えるのが大変だと感じます。

もとより、中国語の意味を完全に理解したとしても、どのように日本語で表せるか、というのも難しいです。特に日本語では使わない表現、例えば、中国語では、30分より半時間（半時間）の方が圧倒的に使われていますが、この半時間を半時間と翻訳しても、チューターはすぐ30分と切り替えて理解することができませんでした。

色々な問題を解決しながら、中国語を教えるのはとても面白くて、チャレンジの価値があることだと思います。中国語を教えるうちに、自分も成長できたかと思いました。



◆Teamsでのレッスン風景
(下の右寄りにLIUさん)

英語・ドイツ語

Learning English through Art & Conversation

芸術学部 研究生
GOLDSCHMIDT Rebecca Maria

My name is Rebecca, I am an artist from Chicago, Illinois in the United States. I moved to Hiroshima in September 2021 to start my doctoral studies at Hiroshima City University in the Arts Faculty with a focus in Sculpture.

I love to study languages because I enjoy communicating with people from many cultures. I believe we can learn about each other by discussing Art and using artworks as tools for learning.



◆Teamsでのレッスン風景
(左がRebeccaさん)

The Language Center has connected me to many students at HCU who want to practice English. It has been fun to work with students, especially Art students, who want to discuss their creation process and what ideas they are exploring through their

artwork. We discuss paintings, photography, animation, video, sculpture, performance, and all forms of artwork.

For me, my role as an artist is to make the world a more beautiful and peaceful place. We must learn how to understand and empathize with other people from different backgrounds and cultures.

I learn a lot from my tutees about Hiroshima, what it's like to grow up in Japan, and I even have improved my Japanese while studying together.

While it's not easy to learn a new language, it's much more fun when you are talking about something you as passionate about! I am looking forward to another semester of tutoring with the Language Center to keep learning more about Hiroshima and supporting students in improving their language skills. よろしくお願ひします！

廊下ギャラリー

国際学生寮さくら関連、2つの写真展



■「さくらでミニ留学」2018～2021
(2021年7月26日～11月26日)

国際学生寮さくらで2018年度から実施されている教育プログラム「さくらでミニ留学」を総括する初の写真展です。それまでに実施された英語や韓国語の5回のプログラムすべてをビジュアルで振り返ることができるもので、学生支援グループが担当しました。

■「さくらのナカマ」
(2021年12月15日～2022年3月16日)

英語とインドネシア語のランゲージチューターとしても活動しているインドネシア出身の留学生、なっちゃん (Naldy Nirmanto Tjondronegoro さん、平和学研究科博士前期課程) が、コロナ禍の中でも感染対策をしながら、寮生が様々な交流活動を楽しんでいる様子の写真を提供してくれました。



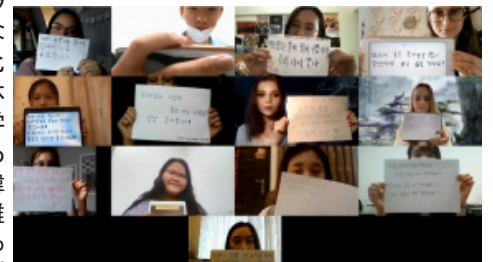
短期語学留学

韓国・慶北国立大学校サマースクール
7名がオンライン参加

新型コロナウイルスの影響により、2020年度から短期語学留学の5つのプログラム（フランス・オルレアン大学、アメリカ・ハワイ大学マノア校、中国・西南大学、ロシア・モスクワ大学、韓国・慶北国立大学校）の実施がやむをえず、見送りになっています。

そのような中、慶北国立大学校のサマースクールが8月9日～20日、オンラインで実施され、7名の学生が参加しました。

オンライン実施でしたが、韓国語の授業に加え、マナーやテコンドー、ドラマやK-POPなどの韓国文化紹介やダンス体験、韓国人学生との交流もあり、韓国や韓国語との距離がぐっと近くなった、有意義なプログラムでした。



◆オンライン授業の一場面

春季休暇課外プログラムを実施しました

春休みの期間中、本学学生を対象とした3つのeラーニングプログラムを実施しました。

春休み課外インテンシブ 英語学習プログラム

「CALL 英語集中」「eラーニング英語」と同等内容の他に、リスニング、リーディング、文法に特化したプログラムがあり、それらを1ヶ月で受講する。

募集期間 1月24日(月)～2月6日(日)
実施期間 3月1日(火)～3月31日(木)
受講人数

一般プログラム 26名
リスニング特化型 11名
リーディング特化型 6名
文法特化型 6名
文法基礎 1名



パソコンやアプリを利用した英語トレーニング スタディサプリ (新日常英会話)

アプリを使い、海外旅行やおもてなし英語で使えるキーフレーズをレベル別(英検1～3級)に学習する。学習期間は1ヶ月。
2月24日のリクルート担当者による学習前オンライン説明会には、20名が参加しました。

募集期間 2月7日(月)～2月14日(日)
実施期間 2月23日(水)～3月22日(火)
受験人数 25名



パソコンやアプリを利用した英語トレーニング Academic English

TOEFL 受験予定、または将来長期留学を希望している人を対象とし、学術的なトピックを通してアカデミック総合力を強化する。学習期間は1ヶ月。

募集期間 2月7日(月)～2月14日(日)
実施期間 2月23日(水)～3月22日(火)
受講人数 24名



2021年度 後期 JLPT N1-N5 オンラインハーフ模試実施

前期に引き続き、全留学生を対象としたJLPT日本語能力試験対応のオンライン模擬テスト(eラーニング)を実施しました。受講期間はJLPT受験日直前の1か月間で、受講期間に3回分の模試を受けることができます。

学習内容: JLPT日本語能力試験対応模擬テスト(N1～N5全レベル)
受講期間: 11月6日～12月5日
受講者数: 6名(内訳:N1-4名、N2-1名、N4-1名)
受講料: 無料

第2回・第3回・第4回 PROGOS ビジネス英語スピーキングテスト実施

8月に実施した第1回に引き続き、実践的なビジネスシーンを踏まえた英語スピーキング能力テストを実施しました。AI判定でCEFRに準拠しておりB2まで判定可能です。教職員も受験可能。

実施期間: 第2回 10月1日～10月10日
第3回 12月21日～12月30日
第4回 2月11日～2月20日
受験者数: 計40名
受講料: 無料 *今年度はパイロットテストへの参加でした。



映画 DE 学ぼう!

前期に引き続き、『外国語(英語・第二外国語)を映画から学ぼう』をコンセプトに、比較的内容がわかりやすい映画を選出しランゲージラウンジで紹介上映を行いました。今期は主に第二外国語で上映をしました。紹介した作品は、語学センター自習室で視聴可能です。

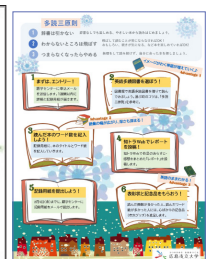
期間: 2021年10月13日(水)～2022年1月24日(月)
場所: ランゲージラウンジ
作品: 10月「ハウルの動く城(フランス語)」
11月「美女と野獣(英語)」
12月「崖の上のポニョ(スペイン語)」
1月「かぐや姫の物語(中国語)」



英語多読マラソン

「英語多読」とは、図書館に配架されている英語多読用ペーパーバックを楽しみながらたくさん読むことを目的としたものです。自分のレベルに合った比較的やさしい英語の本をたくさん読むことで、英語力、特に英語の読解力、速読力、語彙力を高めることができます。
今回は6名が参加し、各自のペースで多読に取り組みました。

期間: 2021年12月1日(水)～2022年1月10日(月)



視察報告

10月20日 安芸高校 16名

感染対策のため小グループに分かれて、語学センターの見学と英語eラーニング体験をしていただきました。

発行日 2022年3月31日
発行 広島市立大学語学センター
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3-4-1
編集 堀本真由美、沖野佳代
Phone (082)830-1509 [内線: 6410] Fax (082)830-1794
E-mail lang@m.hiroshima-cu.ac.jp
ホームページ <https://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/index.html>

